

進化する明日へ Continue thinking

I-O DATA

株 主 通 信

第38期 報 告 書

平成24年7月1日 ▶ 平成25年6月30日

I-O DATA DEVICE, INC.

証券コード：6916

I-O DATA OUTLINE

パソコンの周辺からお客様一人ひとりの周辺へ。
私たちが豊かなデジタルライフをサポートします。

パソコンやデジタル機器をお客様の用途や目的に合わせてカスタマイズする際の
良きサポート役、これが周辺機器です。

アイ・オー・データ機器は、この分野において、機能性やユーザビリティはもとより、
感性に訴えるデザインにいたるまで、市場から高い評価を受けています。

高度化・多様化の一途を辿る情報社会のなか、35年以上にわたり培ってきた技術を用いて、
時代を見据えた製品展開により多様なニーズにお応えすることが

私たちの不変なる使命であると考えております。

お客様一人ひとりの声に耳を傾け、皆様のデジタルライフを支える存在となるべく、

アイ・オー・データ機器は挑戦を続けてまいります。

■ 増設メモリーボード部門

メモリー DDR3 SDRAM
(ノートPC用)



SDY1600シリーズ

メモリー DDR3 SDRAM
(デスクトップPC用)



DY1600シリーズ

SDHCメモリーカード



SDH-Wシリーズ

USBメモリー
ハイスピードモデル



TB-3Xシリーズ

■ ストレージ部門

外付ハードディスク



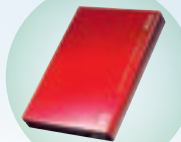
HDCL-UTシリーズ

TV録画対応
外付ハードディスク



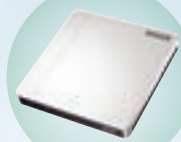
AVHD-AUシリーズ

ポータブルハードディスク



HDPC-UTシリーズ

ポータブルブルーレイドライブ



BRP-UA6Cシリーズ

■ 液晶部門

LEDバックライト採用
19型 液晶ディスプレイ



LCD-AD199GEW

地上デジタルチューナー搭載
23.6型ワイド液晶ディスプレイ



LCD-DTV244XBR

超解像技術搭載
27型ワイド液晶ディスプレイ



LCD-MF274XBR

Windows 8、Windows 7マルチタッチ対応
21.5型ワイド液晶ディスプレイ



LCD-MF223FBR-T

■ 周辺機器部門

ハイビジョンレコーディング
ハードディスク



HVL-AVDTシリーズ

Wi-Fi対応ネットワークカメラ
[Qwatch]



TS-WPTCAM

LAN接続型ハードディスク
LAN DISK (法人様向け)



HDL-XRWシリーズ

LAN接続型ハードディスク
LAN DISK (個人様向け)



HDL2-Aシリーズ

超速新規格対応
無線LANルーター



WN-AC733GR

地上デジタル・ワンセグ放送対応
TVキャプチャー



GV-TV100

■ 特注製品部門

■ その他の部門

ごあいさつ

代表取締役社長

相野 昭雄



株主の皆様には平素より格別のご支援を賜り有難く厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループは平成25年6月30日をもって第38期事業年度（平成24年7月1日から平成25年6月30日まで）を終了いたしましたので、ここに営業の概況等についてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年9月

Contents

I-O DATA OUTLINE	1-2
ごあいさつ	2
営業の概況	3-4
部門別 営業の概況	5-6
連結財務諸表	7-8
TOPICS	9-10
株主様アンケートのお願い	11-13
会社の概要／株式情報	14

■ 営業の概況 >>>

■ 当期の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、政権交代を境に円高修正や株高が進み、回復気運は高まりましたが、長期化する世界経済の停滞による影響を受け、総じて厳しい状況で推移しました。

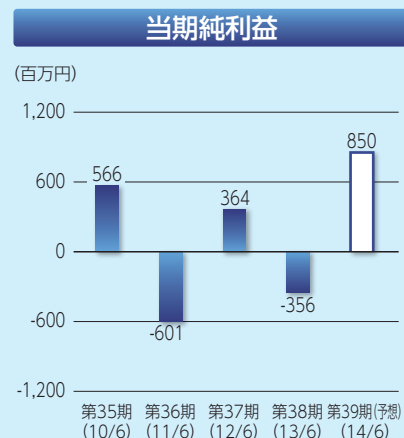
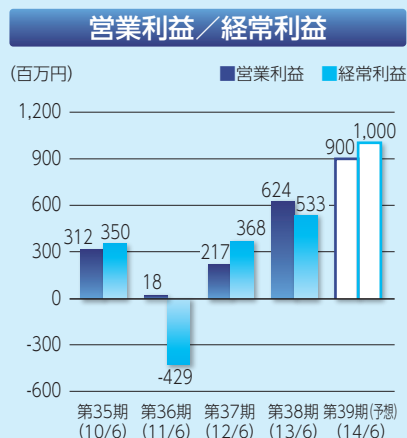
当社グループに関係するデジタル家電市場におきましても、スマートフォンやタブレット端末の普及は本格期を迎え、関連市場は盛り上がりを見せましたが、パソコン関連需要の長期停滞傾向が続くなか、地上デジタル放送移行後のTV関連需要の急収縮が重なり、市場全般には厳しい状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループは、成長性と安定的な収益性の確立を目指し、スマートデバイス関連分野を中心に、ビジネスシーンやライフスタイルを変える新提案を展開し需要創造に努めました。パソコンおよびTV周辺需要の冷え込みによる減収を補うには至らず、売上高は前連結会計年度の実績を下回りました。

利益面につきましては、製品価格の下落と在庫調整による影響から第1四半期には損失を計上しましたが、その後の徹底した原価低減や経費削減、採算性を重視した製品展開や販売方針等の諸施策が奏功し、第2四半期以降は四半期毎に利益を積み重ね、営業利益、経常利益は前連結会計年度の実績を上回りました。しかしながら、当期純損益については、厳しい経営環境と業績進捗を踏まえ、当連結会計年度において希望退職者募集等の経営合理化策を決定し、事業構造改善費用4億12百万円を特別損失に計上したほか、繰延税金資産の一部を取り崩し、2億95百万円を法人税等調整額に計上した影響により、損失を計上する結果となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は366億71百万円（前期比4.9%減）、営業利益は6億24百万円（前期比187.7%増）、経常利益は5億33百万円（前期比44.9%増）、当期純損失は3億56百万円（前期は3億64百万円の当期純利益）となりました。

■ 主要経営指標



■ 次期の見通し

今後の経営環境につきましては、新政権の各種政策効果により、円高修正や株価の回復が進み、景気の持ち直し基調は続くと思われますが、円安進展による輸入品コストやエネルギーコストの上昇、また海外経済の減速懸念の高まりから、景気の先行きは予断を許さぬ状況が継続するものと思われます。

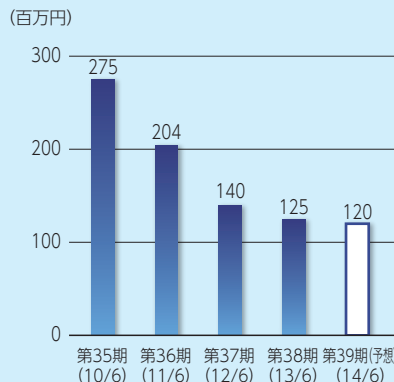
当社グループに関係するデジタル家電市場におきましても、引続きパソコン増設需要には力強さが見られず、TV関連も低迷が続く厳しい局面が予測されます。しかしながら、一方では、スマートフォンやタブレット端末の普及は本格期を迎え、これらスマートデバイスとTVや家電、オフィスの業務システム等が融合し、新たなデジタルライフスタイルが生まれつつあり、周辺機器の提案機会と市場の拡大が期待されております。

こうした状況のもと、当社グループは、成長性と安定的な収益性の確立を目指し、新しいデジタルラ

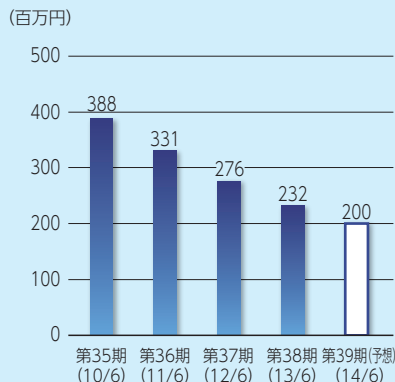
イフやビジネスシーンを支える魅力的な製品・サービスの拡充を加速し、積極的に需要を創造してまいります。また、業種、地域別等の市場の特性に応じた綿密な事業展開と営業強化を通じて、パソコン周辺分野の需要低迷と販売価格の下落による減収基調からの反転を目指してまいります。円安に伴う部品価格の上昇も懸念されますが、当連結会計年度に実施した経営合理化効果による吸収のほか、一層の原価低減とローコストオペレーションの追求、採算性を重視した事業展開を推し進め、収益力の向上を図ってまいります。

これらにより、次期の連結業績予想につきましては、売上高は385億円（前期比5.0%増）、営業利益9億円（前期比44.0%増）、経常利益10億円（前期比87.4%増）、当期純利益8億50百万円（前期は3億56百万円の当期純損失）を見込んでおります。

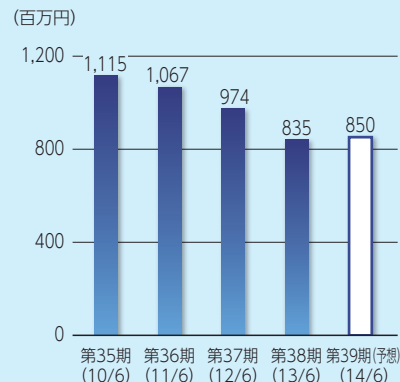
設備投資



減価償却費



研究開発費



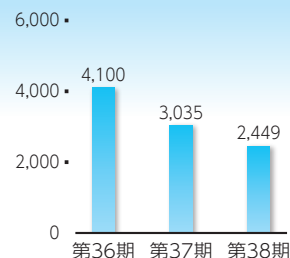
■ 部門別 営業の概況 >>>

2,449
百万円

増設メモリーボード部門

メモリーボードは、パソコンの初期搭載容量の増加による増設需要の減少が続いており、売上高は前連結会計年度の実績を下回りました。メモリーカード、USBメモリー等のフラッシュ製品は、高速規格USB3.0に対応するUSBメモリーを中心に拡販に努めましたが、低価格化が進行し、売上高は前連結会計年度の実績を下回りました。この結果、増設メモリーボード部門の売上高は24億49百万円（前期比19.3%減）となりました。

売上高 (百万円)

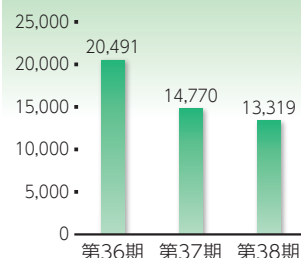


13,319
百万円

ストレージ部門

TV録画用途に特化した高性能モデルや、落下や衝撃からデータを守るGセンサー搭載の耐衝撃ポータブルハードディスク等の新提案を開始しましたが、TVの販売不振の影響を受け、主力の録画用途の汎用ハードディスクの販売は伸び悩み、ストレージ部門の売上高は前連結会計年度を下回る133億19百万円（前期比9.8%減）となりました。

売上高 (百万円)

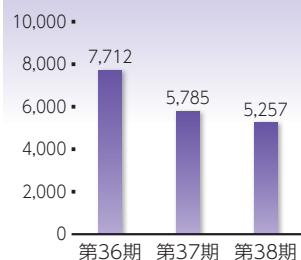


5,257
百万円

液晶部門

前連結会計年度に拡充を進めたLEDバックライト採用の低消費電力モデルや、解像度の低い映像も美しく再現する「超解像技術」を搭載した新シリーズの拡販に注力しましたが、案件需要の低迷と地上デジタルチューナー搭載モデルの減収が響き、液晶部門の売上高は前連結会計年度を下回る52億57百万円（前期比9.1%減）となりました。

売上高 (百万円)



周辺機器部門

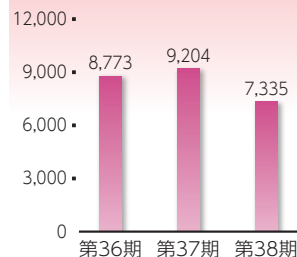
7,335
百万円

マルチメディア関連製品、デジタル家電関連製品については、高画質な地上デジタル放送をスマートフォンやタブレット端末で視聴する等の新提案を強化しましたが、全般的には移行需要の一巡による地上デジタルチューナー分野の減収が大きく響き、売上高は前連結会計年度の実績を大幅に下回りました。

ネットワーク製品については、スマートデバイスとの接続連携や家庭内のAV機器間のコンテンツ視聴に、また、法人向けのデータ保全分野等に最適な提案を目指して、無線LAN製品やNASを中心に新製品の導入と新機能開発を進め販売台数は伸張しましたが、低価格化の進行により、売上高は前連結会計年度の実績に僅かに及びませんでした。新たに規格値にて従来の約11.5倍もの高速化を実現する次世代無線LAN規格「11ac」技術を搭載したラインナップを開始したほか、スマートフォン用に遠隔監視用のネットワークカメラのシリーズ展開を開始しました。NASでは法人向けに高信頼性を追求した機能サービスの拡張を行うとともに、人気のクラウドストレージサービス「Dropbox」や「Amazon S3」との連携を実現。家庭向けに世界初となるDTCP+技術を利用し、著作権保護されたデジタル放送の録画番組を外出先のモバイル機器から楽しむことができるNASの新モデル「RECBOX +REMOTE」も発売しました。

以上の結果、周辺機器部門の売上高は73億35百万円（前期比20.3%減）となりました。

売上高 (百万円)

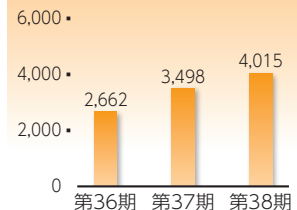


特注製品部門

4,015
百万円

デジタル家電関連や通信事業者向け等へのOEM製品販売が好調に推移し、特注製品部門の売上高は40億15百万円（前期比14.8%増）となりました。

売上高 (百万円)

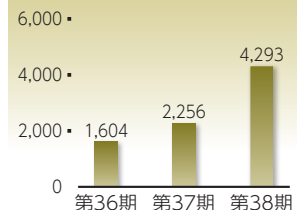


その他の部門

4,293
百万円

自社製品のラインナップを補完する電子部品ならびに他社商品の販売が好調に推移し、その他の部門の売上高は42億93百万円（前期比90.3%増）となりました。サムスン電子社製SSD（フラッシュメモリを使用した記憶装置）の販売が伸張したほか、新たに平成25年4月よりVerbatim®（バーバйтাম）ブランドの光ディスク等の商品販売を開始しました。

売上高 (百万円)



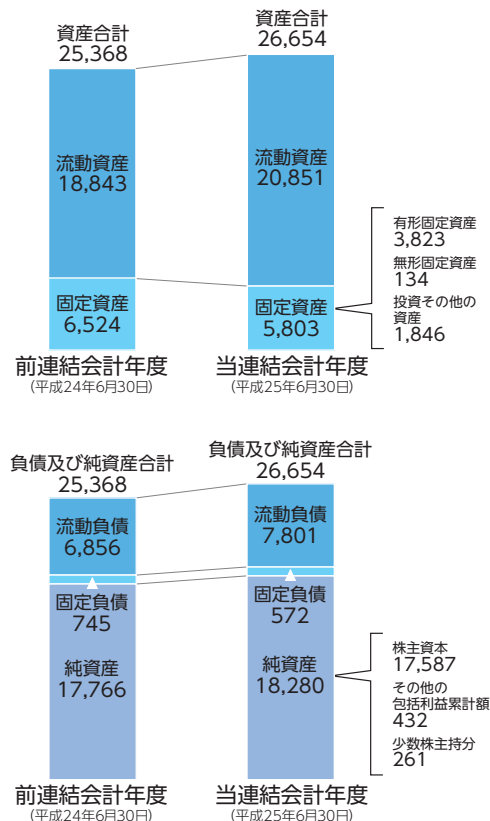
■ 連結財務諸表 >>>

連結貸借対照表

(単位：百万円)

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当連結会計年度 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産	18,843	20,851
現金及び預金	5,119	4,794
受取手形及び売掛金	6,935	7,890
たな卸資産	6,112	6,545
その他	685	1,633
貸倒引当金	△9	△13
固定資産	6,524	5,803
有形固定資産	3,900	3,823
土地	2,880	2,880
その他	1,019	942
無形固定資産	166	134
投資その他の資産	2,457	1,846
→① 資産合計	25,368	26,654
負債の部		
流動負債	6,856	7,801
支払手形及び買掛金	4,098	5,791
短期借入金	1,000	—
未払法人税等	65	132
ポイント引当金	24	20
事業構造改善引当金	—	19
その他	1,668	1,837
固定負債	745	572
役員退職慰労引当金	110	110
リサイクル費用引当金	333	324
製品保証引当金	222	98
その他	78	38
→② 負債合計	7,601	8,373
純資産の部		
株主資本	18,070	17,587
資本金	3,588	3,588
資本剰余金	4,228	4,228
利益剰余金	11,194	10,771
自己株式	△941	△1,000
その他の包括利益累計額	△485	432
少数株主持分	181	261
→③ 純資産合計	17,766	18,280
負債及び純資産合計	25,368	26,654



→① 資産

総資産につきましては、前連結会計年度末に比べて12億86百万円増加し、266億54百万円となりました。これは、繰延税金資産が6億16百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が9億55百万円、たな卸資産が4億33百万円、デリバティブ債権が8億32百万円増加したこと等によるものであります。

→② 負債

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて7億71百万円増加し、83億73百万円となりました。これは、仕入債務等の決済資金としての短期借入金が10億円減少したものの、支払手形及び買掛金が16億93百万円増加したこと等によるものであります。

→③ 純資産

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて5億14百万円増加し、182億80百万円となりました。これは、当期純損失3億56百万円を計上したものの、繰延ヘッジ損益が5億60百万円増加したこと等によるものであります。

※百万円未満切り捨て

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (自 平成23年7月1日 至 平成24年6月30日)	当連結会計年度 (自 平成24年7月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	38,551	36,671
売上原価	32,070	30,554
売上総利益	6,480	6,116
販売費及び一般管理費	6,263	5,491
営業利益	217	624
営業外収益	280	262
営業外費用	130	353
経常利益	368	533
特別損失	86	416
税金等調整前当期純利益	281	116
法人税、住民税及び事業税	77	131
法人税等調整額	△168	295
少数株主損益調整前当期純利益 (△純損失)	372	△310
少数株主利益	8	46
当期純利益 (△純損失)	364	△356

※百万円未満切り捨て

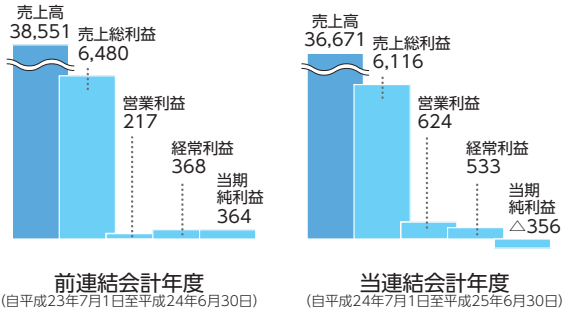
連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (自 平成23年7月1日 至 平成24年6月30日)	当連結会計年度 (自 平成24年7月1日 至 平成25年6月30日)
→④ 営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,602	810
→⑤ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△296	△239
→⑥ 財務活動によるキャッシュ・フロー	932	△1,132
現金及び現金同等物に係る換算差額	△61	236
現金及び現金同等物の増減額	△1,027	△325
現金及び現金同等物の期首残高	6,147	5,119
現金及び現金同等物の期末残高	5,119	4,794

※百万円未満切り捨て

(単位：百万円)



→④ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果獲得した資金は8億10百万円（前連結会計年度は16億2百万円の使用）となりました。これは、税金等調整前当期純利益1億16百万円の計上及び仕入債務の増加17億19百万円による資金増加と、売上債権の増加7億63百万円及びたな卸資産の増加4億34百万円による資金減少等によるものであります。

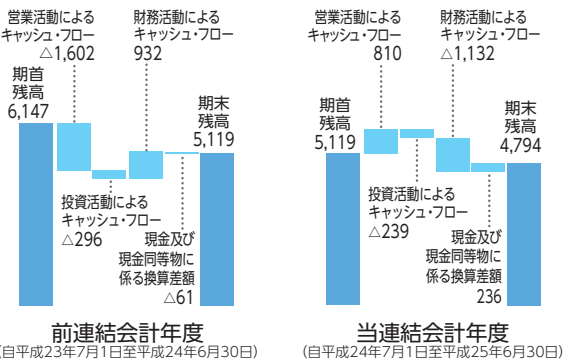
→⑤ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は2億39百万円（前連結会計年度は2億96百万円の使用）となりました。これは、有形及び無形固定資産の取得による支出1億31百万円及び投資有価証券の取得による支出28百万円等によるものであります。

→⑥ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は11億32百万円（前連結会計年度は9億32百万円の獲得）となりました。これは、短期借入金の減少10億円と、配当金の支払67百万円、自己株式の取得59百万円等によるものであります。

(単位：百万円)



■ 地域貢献活動 Regional Contribution Activity

◆海岸清掃「クリーンビーチいしかわ」

複数の企業、個人が共同で海岸清掃を行う『クリーンビーチいしかわ』に企業として今年も参加しました。当日は天候にも恵まれ、金沢市内の海岸約9kmを1時間に亘って清掃しました。漂着物や廃棄物が多数落ちており、各員が沢山のゴミを拾うことで海岸の美化に努めました。



◆第62回金沢百万石まつり「百万石踊り流し」

毎年6月に開催される『百万石踊り流し』に、部署の垣根を超えて集結したメンバーが“チームアイオー”として、心を一つに、大きな声を出して、踊りました。



◆第12回「金沢城リレーマラソン」

毎年5月に開催される『金沢城リレーマラソン』に、“チームIODATA”として昨年から引続き今年も参加しました。

灼熱のもと、タスキをつなぎ、無事完走し、大会を盛り上げました。



■ 環境活動 Environmental Activity

◆ライトダウン2013（平成25年6月21日～7月7日）

当社は、環境省が呼び掛ける「CO₂削減/ライトダウンキャンペーン」に毎年参加しています。

平成25年度は、「でんきを消す夜。地球を想う夜が、ちょっとステキになりますように。」をスローガンとしており、当社も6月21日（夏至の日）から7月7日（七夕）までの期間中、昼間は館内照明を、夜間はネオン看板の消灯を実施し、CO₂排出量に換算すると、約0.65tのCO₂を削減しました。

◆本社社屋、一部の照明設備をLED照明に切り替え

LED照明は省エネ、長寿命なことから従来の白熱電球や蛍光灯に代わり、屋内・屋外照明への普及活用が期待されています。

当社の本社社屋でも、一部の照明設備をLED照明に切り替えし、従来の蛍光灯と比べ、消費電力およびCO₂排出量をそれぞれ約64%削減しました。

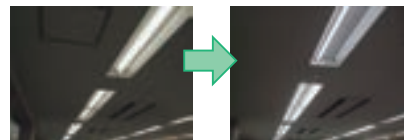
アイ・オー・データ機器 環境情報は…

➔<http://www.iodata.jp/company/environment/>

➔または当社ホームページで



第2ビル社屋（ネオン看板消灯時）



蛍光灯

LED

平成25年7月、当社はコーポレートロゴをリニューアルいたしました。

進化する明日へ
Continue thinking

I-O DATA

外枠のない丸みを帯びた字体には、お客様をはじめとしたステークホルダーとの間に垣根の無い身近な存在でありたい、既存の枠組みに囚われることなく柔軟に進化し続ける企業でありたいとの思いを込めております。

「I」と「O」の間のシンボルは「心」をモチーフに、お客様の声に耳を傾け（I：インプット）、お客様の期待に誠心誠意お応えする（O：アウトプット）ため、技術とアイデアを磨き続ける当社の創業精神を表現しております。



本社社屋（LED照明採用）

■■■ 株主様アンケートのお願い ■■■

アンケート実施期間：平成25年9月27日 ～ 平成25年10月31日

当社では、株主の皆様のお声を今後のIR活動（企業からの投資家の皆様への情報提供活動）に役立てていくため、今年も平成25年6月末現在の株主の皆様を対象にアンケートを実施させていただくことといたしました。
お手数ではございますが、下記のどちらかの方法にてアンケートへのご協力をお願い申し上げます。

回答方法 締切日：平成25年10月31日（消印有効）

1 インターネット

下記URLよりアンケート専用Webサイトへアクセスしてください。

www.iodata.jp/kabunushi/

ログインID iodata38（半角）

ログイン用パスワード **【株主番号】** を半角で入力してください。

2 郵 送

インターネットを利用されない場合は、右ページのアンケート用紙にご記入のうえ、郵送してください。

なお、ご記入後は、お手数ですが、のりしろ箇所にのり付け後、投函していただきますようお願いいたします。

※**【株主番号】**はプレゼントの発送時に必要となりますので、お忘れなくご記入ください。

【株主番号】は、同封の「送付票」右下に記載されている 9桁 の番号です。

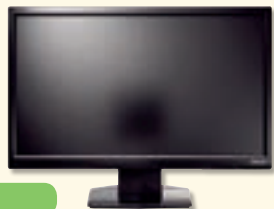
（例）「送付票」右下
株式会社アイ・オー・データ機器
株主番号→123456789

（株主様アンケートによりお伺いした個人情報は、今後のIR活動の参考およびプレゼントの発送の目的にのみ使用し、第三者への提供は一切行いません。）

アンケートにご協力いただいた方の中から抽選で

23型 ワイド液晶ディスプレイ + LinkTV[®] + HDMIケーブル (2m) をプレゼント!!

3
名様



超解像

IPSパネル

LEDバックライト採用

LCD-MF234XPBR2

テレビで
YouTubeを楽しむ♪

パソコン不要

キャッシュでスムーズ再生

TV用 動画共有サイト対応
メディアプレーヤー
LinkTV[®]

ハズレた方の中から、さらに抽選で

USBメモリー (8GB)

小さい・軽い・かわいい♪



どの色が届くかはお楽しみ!!

60
名様

USB2.0対応
TB-OCシリーズ

当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。なお、発送は11月中旬頃を予定しております。

アンケート

☐ 将来性 ☐ 収益性 ☐ 安定性 ☐ 独自性 ☐ 知名度
☐ 経営方針 ☐ 事業内容 ☐ 財務内容・業績 ☐ 株価
☐ 配当利回り ☐ 証券会社の勧め ☐ その他()

Q 1	当社の株式を購入された理由をお聞かせください。 (複数回答可)	☐ 将来性 ☐ 収益性 ☐ 安定性 ☐ 独白性 ☐ 知名度 ☐ 経営方針 ☐ 事業内容 ☐ 財務内容・業績 ☐ 株価 ☐ 配当利回り ☐ 証券会社の勧め ☐ その他()
Q 2	当社株式の保有年数はどれくらいですか？	☐ 1年未満 ☐ 1年以上3年未満 ☐ 3年以上5年未満 ☐ 5年以上
Q 3	当社の株式について今後の保有のご予定をお聞かせください。	☐ 長期保有 ☐ 買い増し予定 ☐ 売却予定 ☐ 業績と株価次第で売買 ☐ 既に売却 ☐ 不明 ☐ その他()
Q 4	今後の保有方針の判断材料は何ですか？(複数回答可)	☐ 株価 ☐ 安定配当 ☐ 株主優待 ☐ 自社株買い ☐ 株式分割 ☐ 業績 ☐ 将来計画の有望性 ☐ その他()
Q 5	当社の今後のIR活動について特に充実を希望することは何ですか？	☐ 株主通信 ☐ ホームページでの情報提供 ☐ 株主向け情報誌 ☐ 個人投資家向け会社説明会 ☐ その他()
Q 6	当社に関する情報入手手段は何ですか？(複数回答可)	☐ 株主通信 ☐ 新聞・情報誌 ☐ 四季報・会社情報 ☐ 証券会社 ☐ ホームページ ☐ インターネット ☐ その他()
Q 7	現在、興味のあるパソコン周辺機器・デジタル家電は何ですか？(複数回答可)	☐ メモリー ☐ ストレージ ☐ 液晶ディスプレイ ☐ ネットワーク関連 ☐ マルチメディア関連 ☐ デジタル情報家電関連 ☐ その他()
Q 8	当社に今後期待する製品は何ですか？	〔 〕
Q 9	その他、当社へのご意見・ご要望などご自由にご記入ください。	〔 〕

この点線で谷折りにしてください

切り取り線

のりしろ

ご協力ありがとうございました

※本書面はアンケートにつき、住所変更等 株主名簿
管理人の行う諸手続きを依頼するものではありません。
また、ご質問を記入いただきましても、お返事はいたし
かねますので、何卒ご了承ください。

株主 番号												(9桁です)
年齢	1. ～20代 2. 30代 3. 40代 4. 50代 5. 60代 6. 70代～											ご性別 男 ・ 女
職業	1. 会社員 2. 会社役員 3. 公務員 4. 自営業 5. 主婦 6. 学生 7. 無職 8. その他 (											

下記『ご住所』欄は、本株主通信のお届け先と現住所が異なる場合にのみご記入ください。

住 所	都 道 府 区 市 郡					
	町 村					



料金受取人払郵便

金沢中央局
承認

3369

差出有効期限
平成25年10月
31日まで

(切手不要)

9 2 0 8 7 9 0

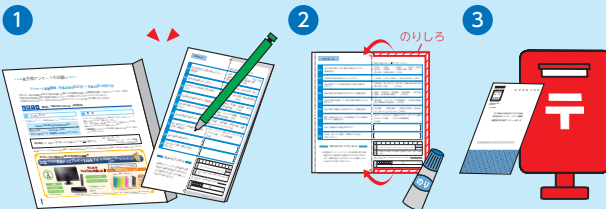
石川県金沢市桜田町三丁目10番地
株式会社アイ・オー・データ機器
管理部 株主様アンケート係 行



この点線で山折りにしてください

切り取り線

郵送時にはお手数ですが、必ずのり付けをお願いいたします。



必要事項をご記入いただき、
切り取り線に沿って切り取ります。

「のりしろ」部にのりを付け、
「谷折り」線で折り、
貼り付けます。

切手を貼らずに、
ポストへご投函ください。

■ 会社の概要／株式情報 >>>

会社概要 (平成25年6月30日現在)

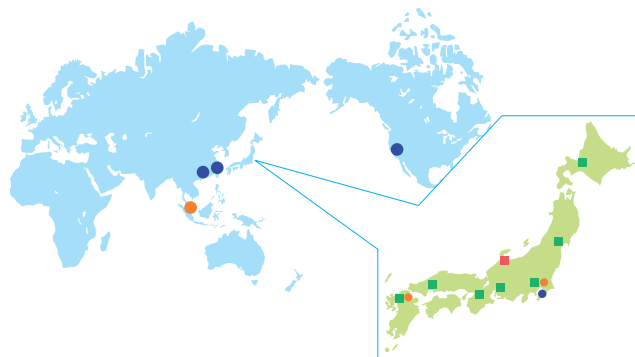
商 号 株式会社アイ・オー・データ機器
I-O DATA DEVICE, INC.
設 立 昭和51年1月10日
資 本 金 35億8,807万円
従業員数 406名 (単体)
447名 (連結)

役 員 (平成25年9月26日現在)

代表取締役社長 細 野 昭 雄
専 務 取 締 役 池 田 信 夫
取 締 役 川 田 浩 夫
取 締 役 濱 田 尚 則
取 締 役 加 藤 啓 樹
◎取 締 役 新 池 義 廣
常 勤 監 査 役 田 雅 勝
※監 査 役 水 谷 章 一
※監 査 役 松 木 浩 一
※監 査 役 横 本 篤

(注) 社外取締役には◎印を、社外監査役には※印を付しております。

当社グループ (平成25年6月30日現在)



事業所

■ 本 社 (金沢市)
■ 営業所
東京 オフィス
大阪 営業所
札幌 営業所
仙台 営業所
名古屋 営業所
広島 営業所
福岡 営業所

関係会社

● 子会社
国際文歐資訊股份有限公司
艾歐資訊横山 (香港) 有限公司
I-O DATA America, Inc.
ITGマーケティング株式会社
● 関連会社
I-O & YT Pte. Ltd.
株式会社デジオン
クリエイティブ・メディア株式会社

株式の状況 (平成25年6月30日現在)

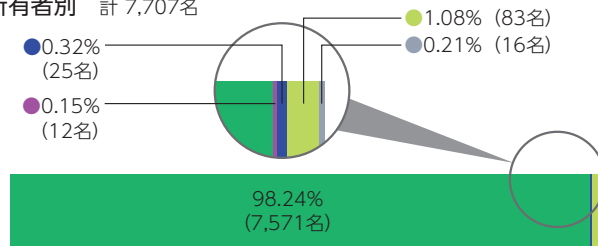
発行可能株式総数 41,000,000株
発行済株式の総数 14,839,349株
1単元の株式の数 100株
株主数 7,707名

大株主 (平成25年6月30日現在)

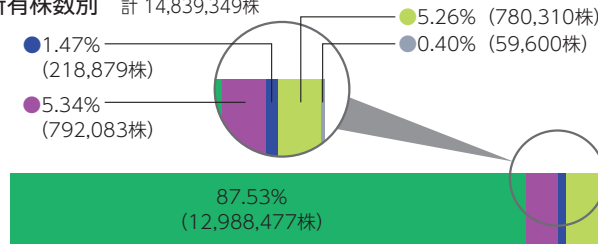
株 主 名	持株数 (株)	持株比率 (%)
細 野 昭 雄	4,514,643	30.42
株式会社アイ・オー・データ機器	1,604,352	10.81
細 野 幸 江	763,780	5.15
株式会社北國銀行	306,662	2.07
有限会社トレント	269,675	1.82
三菱化学メディア株式会社	200,000	1.35
株式会社みずほ銀行	153,331	1.03

株式分布状況 (平成25年6月30日現在)

所有者別 計 7,707名



所有株数別 計 14,839,349株



● 個人・その他 ● 金融機関 ● 証券会社
● その他の国内法人 ● 外国法人等

株主メモ

事業年度 毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会 毎年9月開催
基準日 定時株主総会 毎年6月30日
期末配当金 毎年6月30日
中間配当金 毎年12月31日
その他必要があるときは、あらかじめ
公告して定めた日
公告方法 電子公告により当社のホームページ
に掲載します。(http://www.iodata.jp/)
ただし、やむを得ない事由により電
子公告ができない場合は、日本経済
新聞に掲載します。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777 (通話料無料)
特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
同 連 絡 先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
TEL 0120-782-031 (通話料無料)
上場証券取引所 東京証券取引所 JASDAQ
証 券 コ ー ド 6916

ご注意

■住所変更、単元未満株式の買取・買増請求等の各種手続きについて

原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。
口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできません。

■特別口座に記録された株式に関する各種手続きについて

三井住友信託銀行が口座管理機関となっておりますので、三井住友信託銀行にお問い合わせください。株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行ではお手続きできません。

■未払い配当金について

未受領の配当金につきましては、株主名簿管理人であります三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。当社定款の定めにより、支払開始の日から満3年を経過しますとお支払いできないこととなりますので、お早めにお受け取りください。

※大阪証券取引所は、平成25年7月16日付をもって東京証券取引所と市場の統合を行なったため、当社の上場証券取引所は、東京証券取引所になっております。

株式会社 **アイ・オー・データ機器**

石川県金沢市桜田町三丁目10番地
URL <http://www.iodata.jp/>



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。